

(人検知センサ付ポーチライト)

このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 工事店様へ この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

 「禁止」を表します。	 「必ずしてほしい行為」を表します。	 分解しないでください。	 「接触禁止」を表します。	 「必ずアース線を接続せよ」を表します。
--	---	---	--	---

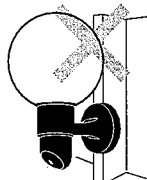
⚠ 警告

- この器具は、壁面上向き取り付け専用の防雨形器具です。このような場所には、取り付けないでください。

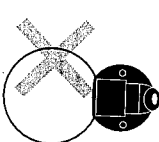
*防水性能が保てなくなり、火災や感電の原因となります。



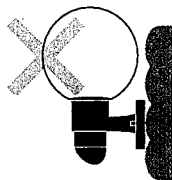
下向き取り付け



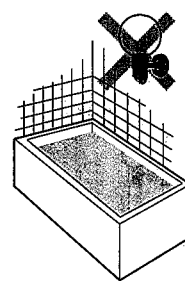
取り付け面が狭い



横向き取り付け



取り付け面が凸凹



浴室などの湿気の多い場所



- 器具にホースで水をかけたり、器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まないでください。

*感電の原因となります。



- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼してください。

*素人工事は危険です。また、法律で禁じられています。



- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。

*火災や感電、故障の原因となります。



- アース工事は、電気設備基準のD種接地工事に従って作業してください。

*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。



- 器具に布や紙・ポリ袋などをかぶせないでください。

*過熱し火災の原因となります。



- 器具に異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

*工事店・販売店・ご相談窓口のお客様相談センターにご相談ください。

⚠ 注意



- 定格電圧 交流100V以外で使用しないでください。

*過熱し火災の原因となります。

- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えないでください。

*器具落下の原因となります。

- 調光器(当社商品名：ライトロール)との併用はしないでください。

*過熱し火災の原因となります。



- 必ず指定の電球をご使用ください。

*過熱し火災の原因となります。

- お手入れの際や、電球交換の際は、必ず電源を切ってください。

*感電の原因となります。



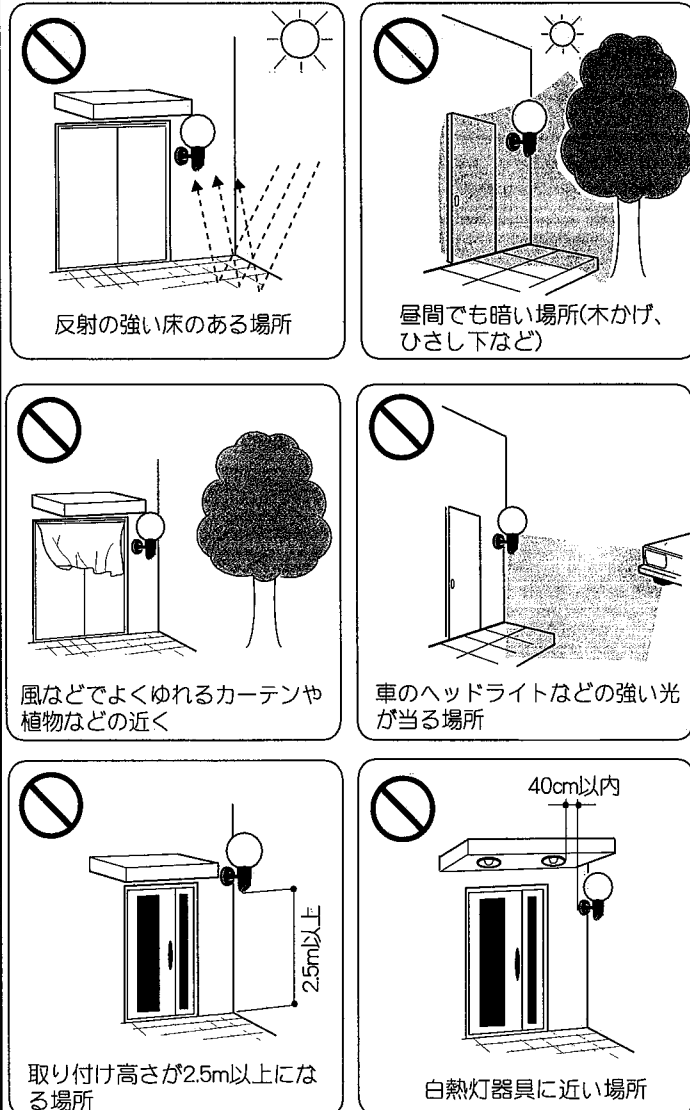
- 点灯時及び消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。

*やけどの原因となります。

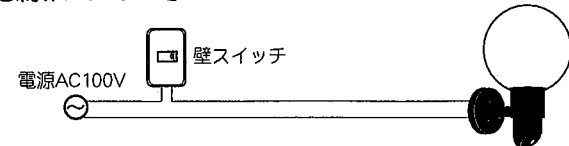
各部の名称と使いかた

取り付け前のご注意

- センサの検知性能をより確実にするため、器具の取り付けの際は、「センサの検知範囲について」の項目をよくご覧の上、取り付けてください。
- 次のような場所には、取り付けないでください。



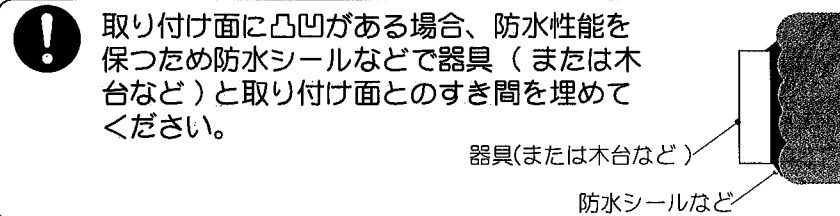
■配線について



- 壁スイッチがないとき**
- センサによる点灯モードに異常が発生したとき、設定状態に戻すことができません。
 - 長時間使用しない時、電源を切ることができません。
 - 壁スイッチにパイロットスイッチを使用した場合、パイロットスイッチが正常に動作しません。スイッチをONにしても照明器具が消灯状態の時は、パイロットスイッチ表示が点灯しません。(故障ではありません)

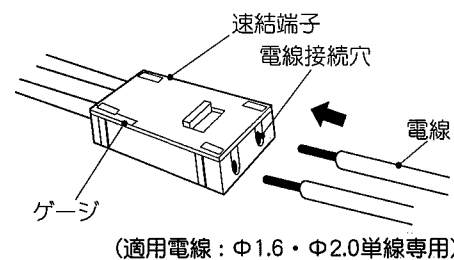
器具の取り付け

1. 取り付け板の取り付け穴を使用して、付属の木ねじで補強材のある所に付けてください。



2. グローブと電球をはずし、飾りナットをゆるめ、取り付け板を本体からはずしてください。次に、取り付け板の電源穴に電線を通しアースねじを上向にして、付属の木ねじ2本で補強材のある所に付けてください。

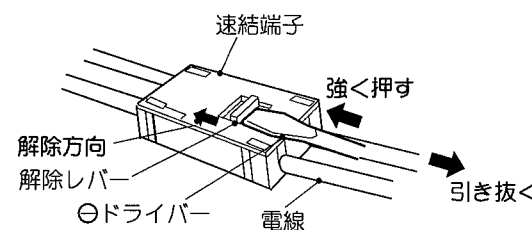
3. 電線をゲージに合わせ段むきし、速結端子にしっかりと差し込んでください。次に、アースねじを使用しアース線を接続してください。



- 必ずアース線を接続してください。

■解除のしかた

- 電線ははずす場合、ドライバーで解除レバーを強く押しながら、電線を引き抜いてください。



4. 本体を取り付けねじに通し、飾りナットでしっかりと締め付けてください。

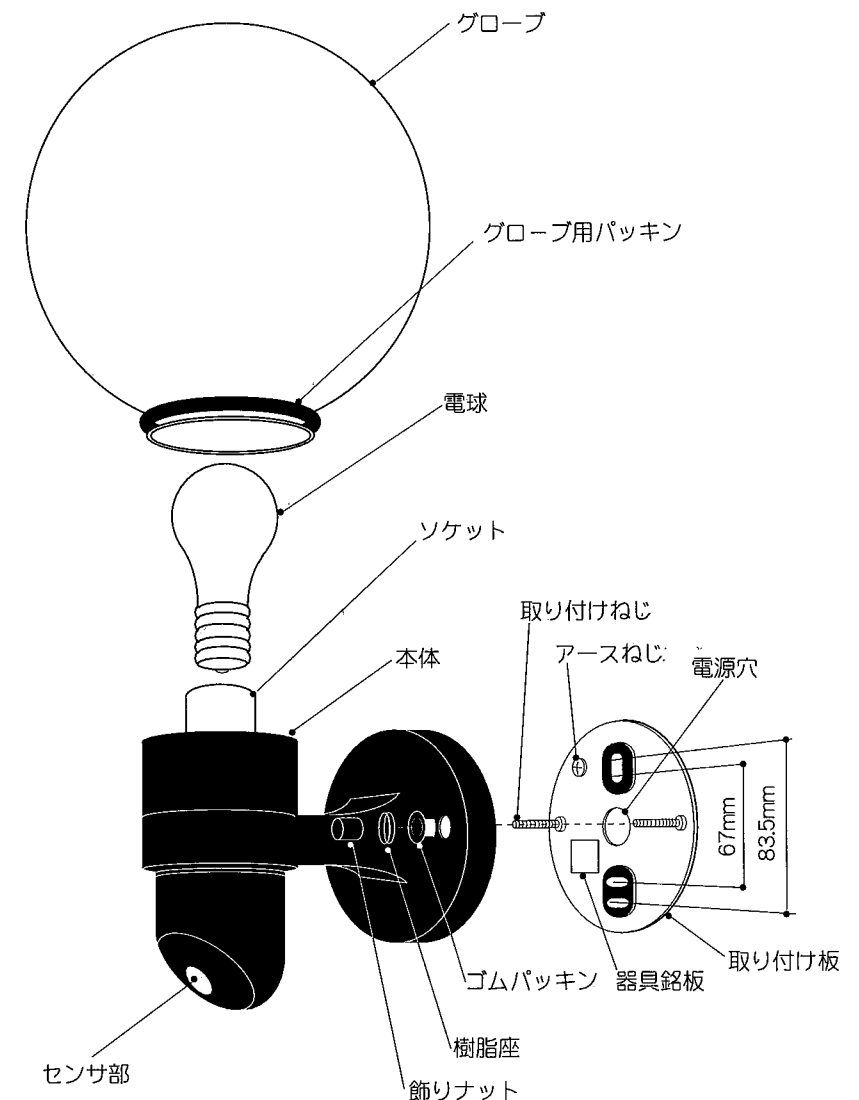
- ！ 飾りナットを締め付ける際、必ずゴムパッキン・樹脂座を使用してください。
*取り付けが不完全な場合、防水性能が保てなくなり火災や感電の原因となります。

5. 電球をソケットに取り付けたのち、点灯確認を行なってください。次に、グローブを本体に入れ右方向に回してしっかりと取り付けてください。

- ！ 器具が確実に取り付けられているか、確認してください。
*取り付けが不完全な場合、防水性能が保てなくなり火災や感電の原因となります。

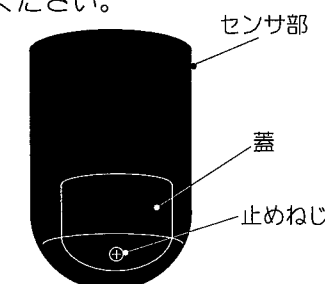
6. センサ部をご使用になる位置に合わせ、検知範囲を決めてください。(センサ部の位置は、水平方向で約90度ずつ回転できます。)

- ！ 90度以上を無理な力で回さないでください。
*器具破損の原因となります。

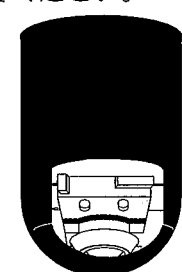


■センサを設定する場合

- センサ部止めねじをドライバーではずし、蓋を取ってください。



- センサの設定のしかたを参照し、お好みの設定を行なってください。



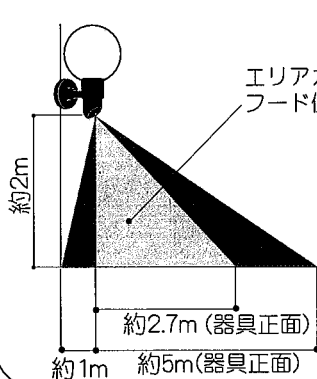
- 設定後センサ部に蓋を取り付け、止めねじをしっかりと止めてください。

センサについて

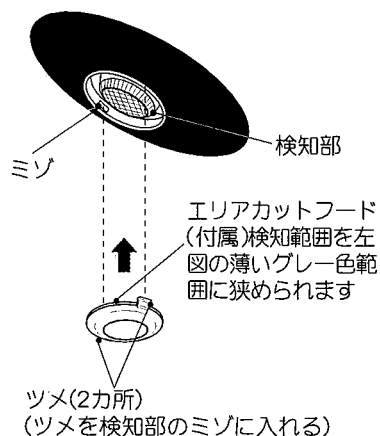
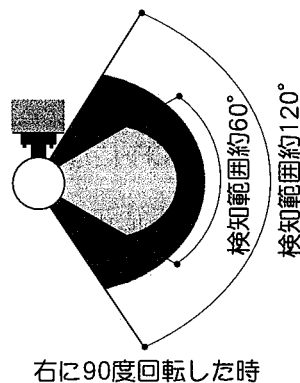
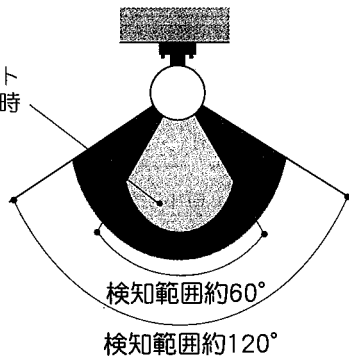
■センサの検知範囲について

●センサはおよそ下図の範囲で検知します。図の範囲を参考に器具を取り付けてください。

垂直方向



水平方向



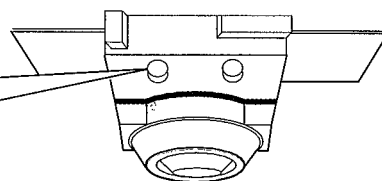
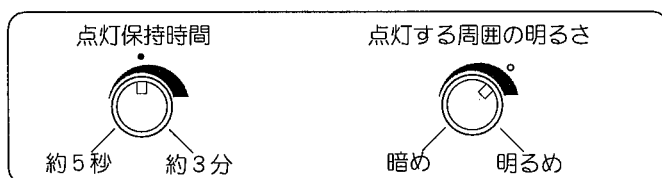
■このセンサは人の動きなど温度変化を検知しています。次のような現象でもセンサの異常ではありません。

- ・静止している人は、検知できません。
- ・夏場など人体の表面と床面との温度差が小さくなると、検知範囲が小さくなります。
- ・人以外でも急激な温度変化があると、検知範囲に人がいなくても点灯する場合があります。
- ・器具中心に向かってまっすぐ近づいた場合、上記検知範囲より近づかないと検知しない場合があります。

■センサの設定のしかた

●調整つまみを使用状態にセットしてください。

調整つまみをまわし、人を検知し始める明るさ、点灯保持時間を設定してください。



点灯保持時間調整つまみ

人が検知範囲からいなくなる。または、静止してからの点灯時間を調整することができます。



点灯する周囲の明るさ調整つまみ

人を検知し始める明るさを調整することができます。

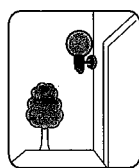


- ・「明るめ」側(右方向)に回すと、明るい場合でも人が検知範囲に入ると、点灯します。

おすすめの設定

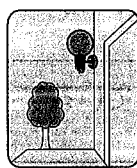
- ・点灯保持時間調整つまみを●(黒丸)印に合わせてください。(約1分に設定されます。)
- ・点灯する周囲の明るさ調整つまみを○(白丸)印に合わせてください。

設定より周囲が明るい時



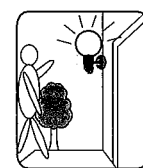
消灯

周囲が暗くなると



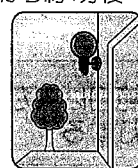
消灯のまま

人が検知範囲にはいると



点灯

人がいなくなる
または静止して
から約1分後



消灯

ご使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によりキシミ音が発生する場合がありますが、器具の異常ではありません。

故障かなと思われたとき・・・

- センサ検知動作に異常があると思われる場合は、壁スイッチをOFFにし5秒以上待ったのち、再びONにしてください。
- 正常に戻らない場合は、下記の点検を行なってください。

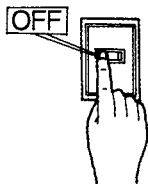
現 象	考えられる原因	処 置
検知範囲に人がいるのに点灯しない	●壁スイッチがOFFになっている ●電球がソケットに正常に取り付いていない ●周囲の明るさが、調整ツマミで設定した明るさより、明るい ●電球の寿命	●壁スイッチをONにする ●ソケットに確実に取り付ける ●点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」側(右方向)に少しまわす ●新しい電球と交換する
検知範囲が小さい	●検知範囲が適切でない(エリアカットフードがついている) ●検知部が汚れていたり、水滴がついている ●周囲温度が高く、人体との温度差が少ない	●センサ部分を左右に回し、検知範囲を調整する(エリアカットフードをはずす)(センサの検知範囲についてを参照してください。) ●検知部を柔らかい布で傷がつかないように拭き取る ●本センサは人の動きによる温度変化を検知するため検知しにくいことがあります
検知範囲に人がいないのに点灯する	●検知範囲内に、人以外の熱源がある (例)・白熱灯照明器具 ・風などでよくゆれる物(カーテン・樹木など) ・太陽光 ●電源を投入した直後(停電直後)	●本センサは、温度変化を検知するため、人以外の熱源で温度変化があった場合、センサが反応することがあります この場合故障ではありません ●エリアカットフードを使用し検知範囲を狭める(検知範囲に熱源が入らないように範囲を狭めてください) ●設定時間後、消灯することを確認する
人がいなくなってもなかなか消灯しない	●点灯保持時間が長く設定されている	●点灯保持時間調整ツマミを左に回し、時間設定を変更する
周囲が明るいのに点灯する	●周囲の明るさ設定の、調整ツマミが「明るめ」になっている	●点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「暗め」(左方向)に回す
検知範囲に人がいるのに消灯する	●人が静止している	●静止している人は検知できません

- 万一、処置した後になお異常が生じた場合、直ちに電源を切り工事店または、販売店に器具の形式(器具銘板に表示してあります。)・故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お手入れ

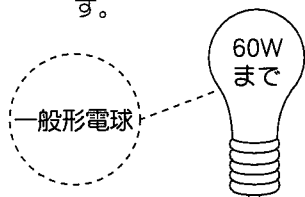
- お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切ってください。

*感電の原因となります。



- 必ず指定の電球をご使用ください。

*指定以外の電球を使用しますと、器具の異常過熱などにより火災の原因となります。



- 器具の点灯時および消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。



■器具のお手入れ

- センサが汚れていますと、誤動作したり動作しない場合がありますので、定期的にセンサを掃除してください。

- 器具が虫やほこりなどで汚れましたら、きれいな布で軽くはたき落としてください。汚れが落ちない場合は、きれいな布を石けんに浸してよくしぼったのちふき取ってください。

- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。



- みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけないでください。

*傷がついたり、変色、変形の原因となります。



仕 様

定 格 電 圧	消 費 電 力	適 合 電 球
交流100V	60W	60W一般形電球(E-26)

◎日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5256

■日立家電品ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担 当 地 区	電 話 番 号	所 在 地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5(日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。